



公明党 内山 恵子

受診控えが懸念される がん検診のさらなる充実を

●がん予防対策のさらなる充実について

Q 新型コロナウイルスの影響により、がん検診の受診控えが懸念される。子育てメール「あやび」の子育てお役立ち情報」を活用し、安心して受診できる状況であると、若い世代へ情報発信しては。

A 子育て世帯が受診を控えないよう、子育てメールを活用し、周知していきたい。

Q 国より、子宮頸がんの予防となるヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン接種の情報提供をするよう勧告されたが、対象者への対応は。

A 国より接種機会確保の方針が示され、積極的勧奨は控える旨も記載し、定期接種

期限が令和2年度末の高校1年生には、10月末に通知した。定期接種対象の中学生には、年度末までに順次個別の通知を行う予定である。

Q 国立がん研究センターは、HPVの感染を調べる検査の併用を推奨したが、子宮がん検診との併用は。

A 国の指針が示された際には、子宮がん検診とHPV検査の併用を検討していく。

Q がん発症の危険性を早期に見てくれる胃がんリスク検診は大切である。検診の受診をどう推進していくか。

A 対象年齢の拡大や有効性を調査・研究するとともに、現在の対象者には、引き続き周知に努めていく。



公明党 三谷 小鶴

危険ブロック塀等耐震化補助事業に委任払いの導入を

●複合災害に対する取組について

Q 危険ブロック塀の改修は、費用面の負担が大きい。危険ブロック塀等耐震化事業で一時的な負担を軽減する委任払い制度を導入しては。

A 委任払い制度は、他の補助事業でも導入しており、前向きに検討していきたい。

Q 日頃から災害に備えるため、一人一人が作成できるようマイタイムラインの様式を、広報あやせや市ホームページへ掲載しないか。

●移住・定住化に向けた取組と課題について

Q 新型コロナウイルス禍で在宅勤務が増え、住環境の改良が求められている。国は住宅のリフォームなどへの助成を行うが、市の考えは。

A 住宅リフォーム助成事業は、市内経済の起爆剤になると考えており、国の財源活用を含め、調査研究していく。

Q 移住・定住化の支援では、交通便利性向上や居住環境整備、雇用創出などの施策が必要と思うが、市の考えは。

A コロナ禍により、新たな生活などを模索する機運が高まる中、これからの地域を支える人材の居住につながる重要な施策であると考えている。



創政会 武藤 俊宏

本市への移住・定住化に向け住宅リフォームの助成を

Q 三世帯ファミリー定住支援事業は、人口増だけでなく、働く世代が増え、財政面にも寄与している。今後の事業の在り方をどう考えるか。

A 従来の目的である、バランスの取れた人口構成の実現などに加え、コロナ禍での仕事や生活様式の変容も含め、時代に合った事業への見直しなどを調査研究したい。

Q バスの運行時間を拡大し、始発や最終電車の時間に近づけるべきと考えるが、バス事業者を支援しないか。

A 始発と最終便のバス利用者数が少なく、時間拡大は困難と考える。コロナ禍が収束し、要望が多い場合は、事業者に伝え、支援策を検討する。



創政会 齊藤 慶吾

グルメクーポンの利用期間を延長し増額を検討しては

●コロナ禍における事業者及び市民の影響について

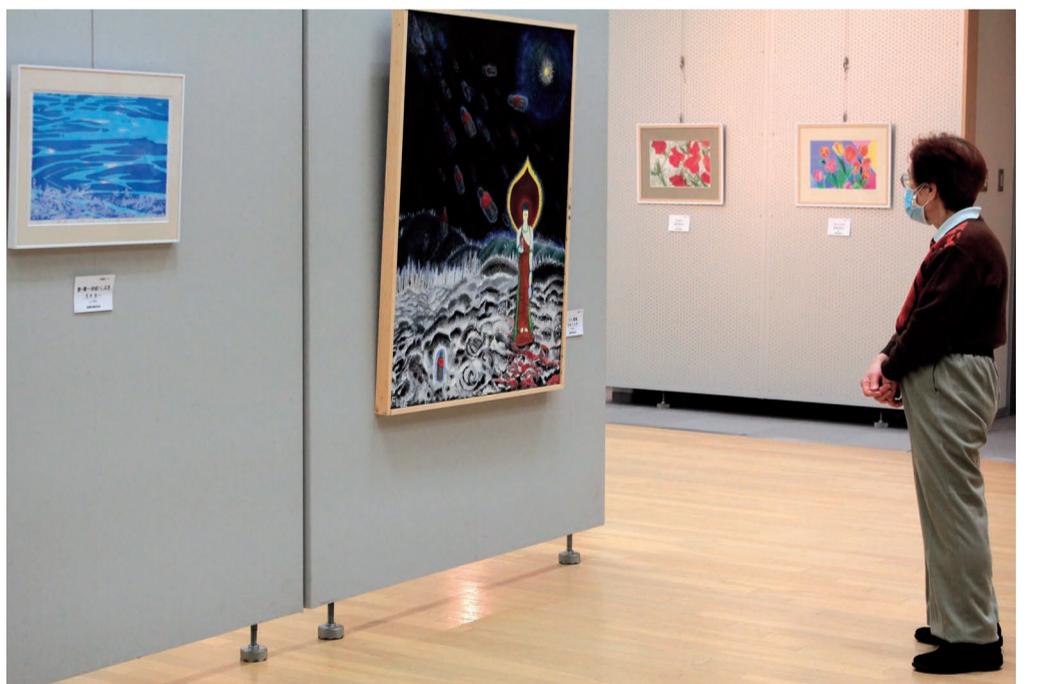
Q あやせ得々スベシャルグルメクーポンは、飲食店や利用者から好評を得ている。利用期間の延長と、助成の増額を検討しては。また、感染拡大が続く中、緊急事態宣言が発出された場合の対応は。

A 助成の増額は考えていないが、今後の感染状況や国・県の動向により、利用期間の延長を検討している。また、緊急事態宣言発出の際にも利用を一時停止し、利用期間の延長を考えている。

Q 令和2年度の生活困窮者自立相談支援事業での相談件数は月平均60件で、元年度の約3倍である。引き続き、相談窓口を周知するとともに、相談者の自立につながるよう



市公式マスコットキャラクター「あやびい」



12月10日から13日まで、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、「綾瀬市美術協会展」が開催されました<市役所7階市民展示ホールにて>

議会用語のミニ知識

「表決」

表決とは、議会の意思決定に議員が参加するための手段で、賛成、反対の意思表示をすることをいいます。

このように、議長が表決をとることを「採決」といい、表決の結果得られた議会の意思決定(例えば可決、否決、同意など)を「議決」といいます。したがって、表決は、議会の審議過程における最終手続になります。

表決の方法には、大別すると議長が議題に関して賛成する者を起立させ、その多少を認定して行う「起立表決」と起立者の多少を認定しがたい場合に行う「投票による表決」、議長が異議の有無を諮る「簡易表決」の3つがあります。本市議会においては、通常「起立表決」と「簡易表決」が多く用いられています。

